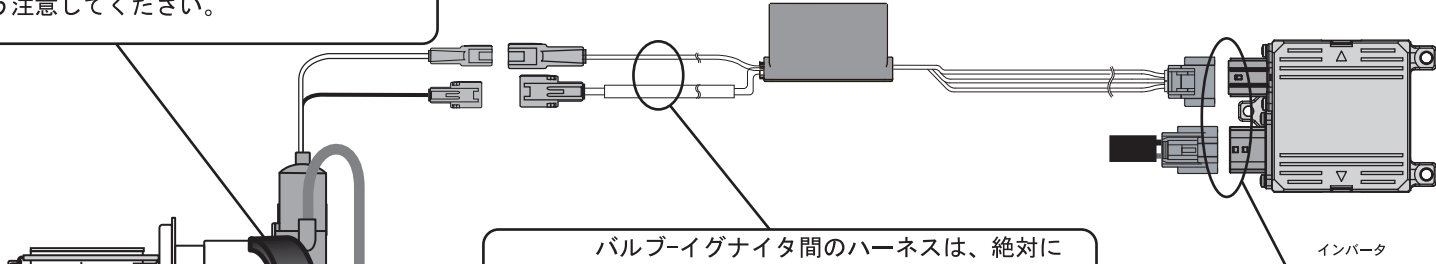


# 必ず、お読み下さい

12V用  
プレミアムモデル(平成24年5月作成)

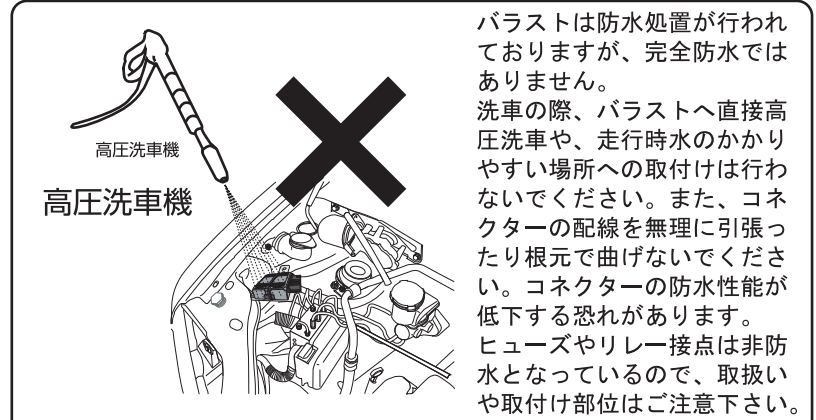
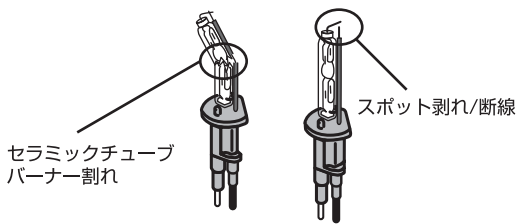
以下の事項での故障は、  
保証対象外となります。

**X** ロックを行う際、無理な力を掛け回し過ぎないように注意してください。



**X** バルブ・イグナイタ間のハーネスは、絶対に束ねたりアース部に固定しないでください。また、ハーネスの延長、加工は行わないでください。ノイズが発生したり、バラスト故障の原因になります。

割れ、不点灯はバルブケースから取り出す前に必ず確認してください。車両へ装着時及び装着後に発生した破損は保証できません。



バラストは防水処置が行われておりますが、完全防水ではありません。洗車の際、バラストへ直接高圧洗車や、走行時水のかかりやすい場所への取付けは行わないでください。また、コネクタの配線を無理に引っ張ったり根元で曲げないでください。コネクタの防水性能が低下する恐れがあります。ヒューズやリレー接点は非防水となっているので、取扱いや取付け部位はご注意ください。

## 点検修理に出す前に、下記のご確認をお願いいたします。

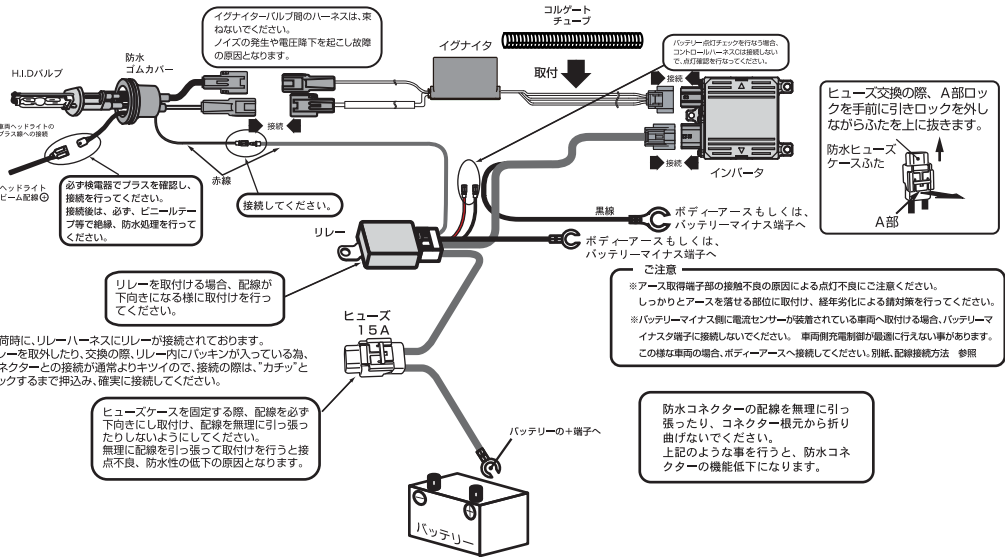
### 固定バルブのトラブルシューティング



**※点検方法**  
バラストから出ているプラス、マイナス端子をバッテリーに直接接触させて下さい。接触させると、点灯が始まりますが、およそ5分程度点灯させてください。※点灯の際は、ヘッドライトにバルブを固定して行って下さい。  
十分に温まってから、バラスト配線のマイナス端子を付けたり、離したりを20回程繰り返して下さい。  
点灯しているが、たまに「パチッ」という音と共に消灯した場合、バルブがリークしている可能性があります。購入した販売店にご相談下さい。

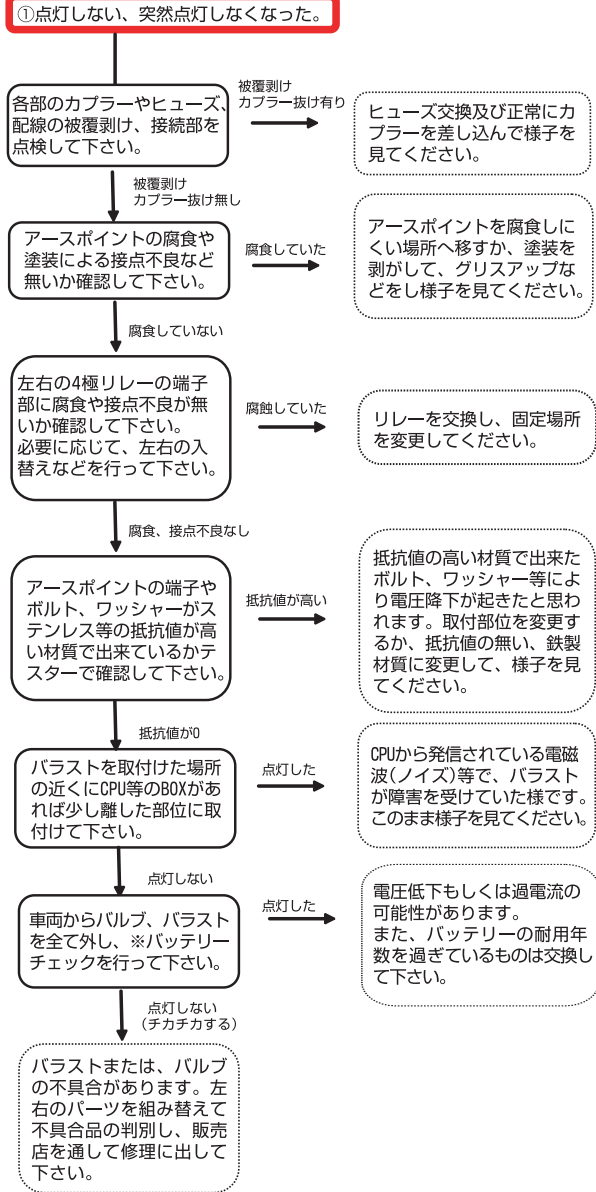
**注意**：バルブが冷えた状態と温まった状態とは症状が異なる場合があります。

#### 「バッテリー点灯チェック」



#### ※バッテリー点灯チェック

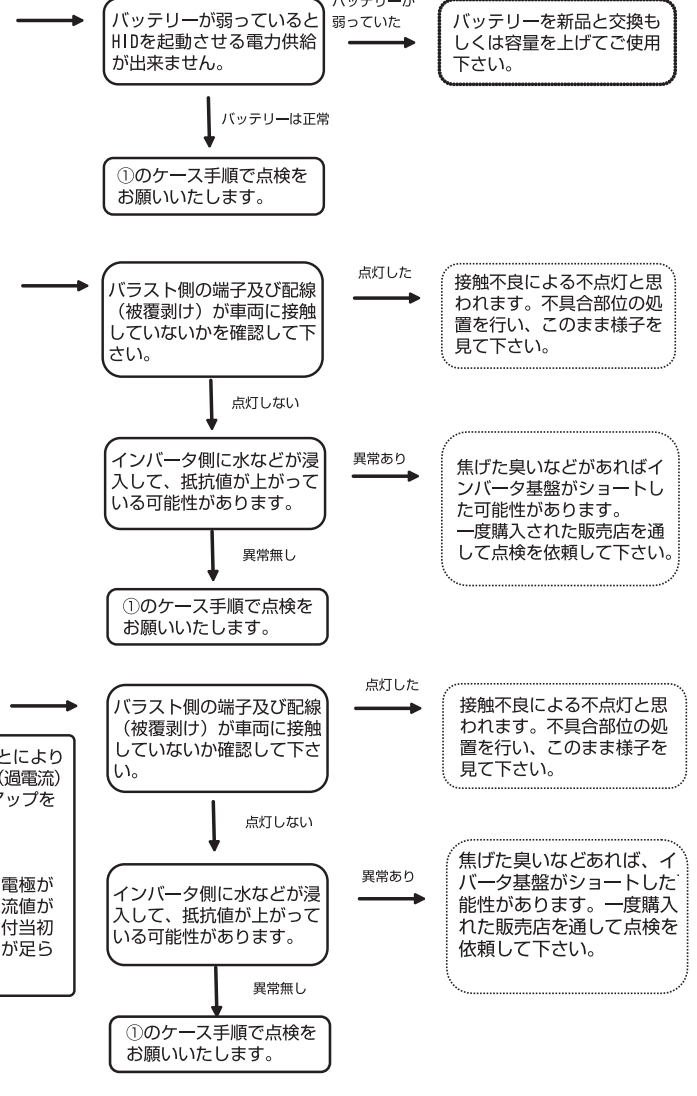
図の様に、HIDシステムをバッテリーのプラス、マイナス端子へ直接接続し、点灯確認を行って下さい。この状態で点灯する様であれば、「バルブ」「バラスト」などに異常はありません。もう一度、アースの取付部変更やポディー塗装を剥がして、電通を良くするなど、検討をお願いいたします。また、点灯時に「パチパチ」「一瞬遅れて点灯する」等の症状が見られる時も、図の要領で点灯確認をしてください。症状が改善される時は、車両側で電圧降下を起こしていると思われる。



#### ②バルブがチカチカする

#### ③バラスト側のヒューズが切れる

#### ④車両側のヒューズが切れる



# 切替式バルブのトラブルシューティング

⑤点灯しない、突然点灯しなくなった

①のケース手順で点検をお願いいたします。

点灯した

そのままご使用頂き、様子を見て下さい。

点灯しない

バッテリープラス端子への接点確認、及びヒューズ切れを確認して下さい。

点灯した

取付方法や接点方法を見直し、そのまま様子を見て下さい。

点灯しない

左右の4極リレーの端子部に腐食や接点不良が無いか確認して下さい。必要に応じて、左右の入替えなどを行って下さい。

点灯した

リレー自体は防水処理されていますが、接点部分は非防水です。リレー端子部を清掃、必要があれば交換していただき、なるべく雨水やクーラントなどの掛からない部位へ取付下さい。

点灯しない

コントロールユニットの接合部、配線の確認して下さい。

点灯した

接続部コネクタの清掃、配線処理の方法をやり直して下さい。ひどい様であれば、交換していただき、取付け、配線の引き直しを見直して下さい。

点灯しない

HIDシステム全体を確認する必要があります。一度、購入された販売店を通じて検査を依頼して下さい。

⑥HI/L0が切り替わらない

コントロールユニットから出ている4極、9極カプラーの抜き差しを行って下さい。

切り替わらない方が切り替わるようになった

カプラー内の端子が腐蝕している可能性があります。防水、防錆処理を行って下さい。

切り替わらない

左右の4極リレーの端子部に腐食や接点不良が無いか確認をして下さい。必要に応じて、左右入替えなどを行って下さい。

切り替わるようになった

リレー自体は防水処理されていますが、接点部分は非防水です。リレー端子部を清掃、必要があれば交換していただき、なるべく雨水やクーラントなどの掛からない部位へ取付下さい。

切り替わらない

バッテリー端子のプラスへ接続している配線を確認して下さい。(HI/L0切替を司る電源端子になります)

切り替わるようになった

バッテリーへのプラス端子の接続が悪いと、HIDシステム全体がダウンすることもあります。確実な取付を行って下さい。

切り替わらない

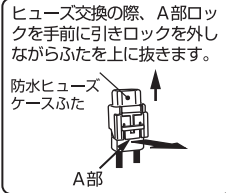
バルブを外してフリーな状態でHI/L0確認をして下さい。バルブ内部のソレノイドが動いているか確認して下さい。

動こうとしている

ソレノイドは動こうとしてはいますが、何処かで引っ掛かっているようです。セラミックチューブ折れなど無いか確認のうえ、購入された販売店へ検査を依頼して下さい。

動かない

HIDシステム全体を確認する必要があります。一度、購入された販売店を通じて検査を依頼して下さい。



※1 車両側電源コネクタとコントロール側コネクタを接続した際、若干隙間が開くコネクタがあります。これは、製品不良ではありません。

※2 防水コネクタの配線を無理に引っ張ったり、コネクタ根元から折り曲げないでください。上記のようなことを行うと、防水コネクタの機能低下になります。

※3 アイドリングストップ機能が装着されている車両で、アイドルストップからエンジン始動の際、車両側バルブコネクタへの電圧が低下する事があります。電圧が低下すると、リレーの動作が不安定になります。コントロールハーネスCは、電圧低下した際のリレー動作保持のためのパーツです。

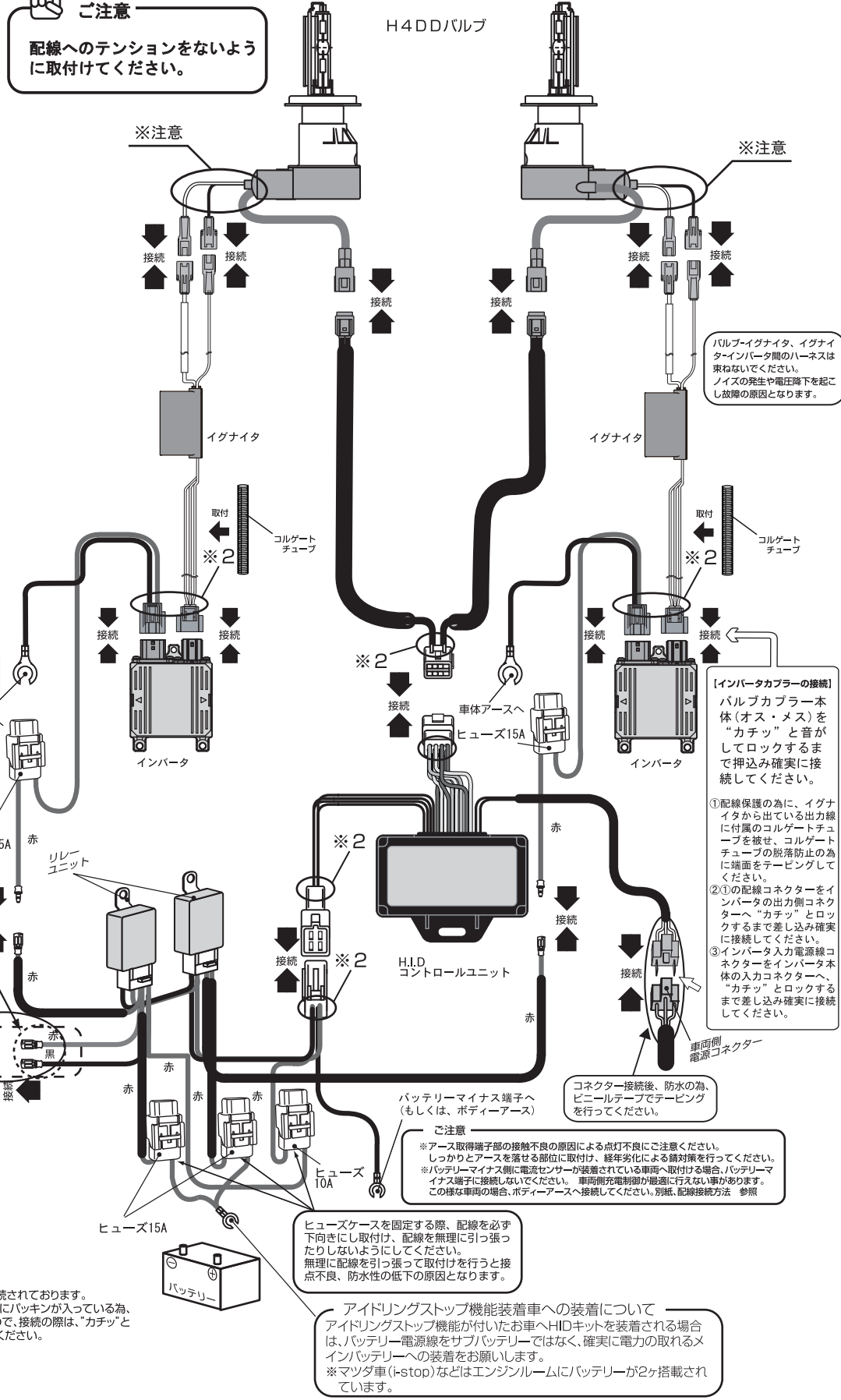
アドバイス カプラーの防水対応としてグリス塗布を行ってください。※塗布ポイントは矢印です。⇨

コントロールハーネスCを使用しない場合、リレーコネクタから出ているキボン配線を必ず絶縁テープで、キボン端子を絶縁処理を行なってください。

コントロールハーネスCを接続する際、必ず、赤線と赤線を接続、黒線と黒線を接続してください。絶対に逆接続させないでください。部品の破損、動作不良の原因となります。※取付け後、必ず、配線が下向きになる様に、付属のインシュロックを使い、リレーと固定してください。

※出荷時に、リレーハーネスにリレーが接続されています。リレーを取外したり、交換の際、リレー内にパッキンが入っている為、コネクタとの接続が通常よりキツイので、接続の際は、「カチッ」とロックするまで押し込み、確実に接続してください。

ご注意 配線へのテンションをないように取付けてください。



⑦ハイビームのインジケータが点灯しない

車両によってハイビームを認識する機構が異なります。

トヨタ、ダイハツ車以外

仮に点灯しない場合、対応出来ない場合があります。一度、購入された販売店へご相談下さい。

トヨタ、ダイハツ車

トヨタ、ダイハツ車はハイビーム点灯時に微量な電流をロー側に流し、それがフィラメントを通じて返ってきた時にハイビームと認識させている車両が一部あります。

コントロールユニット内部に擬似的なローフィラメントを作り出し、ハイビームインジケータを正常点灯させる機能を内蔵させています。

※車両側センサーの感度により必要無い場合や、稀に正常起動出来ない場合があります。

バルブ・イグナイター、イグナイター・インバータ間のハーネスは束ねないでください。ノイズの発生や電圧降下を起し故障の原因となります。

【インバータカプラーの接続】バルブカプラー本体(オス・メス)を「カチッ」と音がしてロックするまで押し込み確実に接続してください。

①配線保護のために、イグナイターから出ている出力線に付属のコレクターチューブを被せ、コレクターチューブの脱落防止のために端面をテーピングしてください。

②①の配線コネクタをインバータの出力側コネクタへ「カチッ」とロックするまで差し込み確実に接続してください。

③インバータ入力電源線コネクタをインバータ本体の入力コネクタへ、「カチッ」とロックするまで差し込み確実に接続してください。

ご注意 ※アース取得端子部の接触不良の原因による点灯不良にご注意ください。しっかりとアースを確保する部位に取付け、経年劣化による錆対策を行ってください。※バッテリーマイナス側に電圧センサーが装着されている車両へ取付ける場合、バッテリーマイナス端子に接続しないでください。車両側充電制御が適正に入らない事があります。このような車両の場合、ボディーアースへ接続してください。別紙、配線接続方法 参照

ヒューズケースを固定する際、配線を必ず下向きにし取付け、配線を無理に引っ張ったりしないようにしてください。無理に配線を引っ張って取付けを行うと接点不良、防水性の低下の原因となります。

アイドリングストップ機能装着車への装着について アイドリングストップ機能が付いたお車へHIDキットを装着される場合は、バッテリー電源線をサブバッテリーではなく、確実に電力の取れるメインバッテリーへの装着をお願いします。※マツダ車(i-stop)などはエンジンルームにバッテリーが2ヶ搭載されています。